

“ものづくり” to “ことづくり”

(特別寄稿) 県立米沢東高等学校校長(BNO会員) 小野 庄士 氏



新年おめでとう御座います!

学校と企業とは「似て非なるもの」ですが、「も」  
「ど」のように学校にもマネジメントが存在します。  
そのいくつかを紹介します。

1 即決即断せよ (高島高校)  
Swing Girlsの話が突然やってきました。助監督  
が飛び込んで来たのです。話を聞いてすぐに撮影  
を快諾しました。なぜなら監督のWater Boysは  
川越高校で撮影されたことを知っていましたから。  
「こうして、騒音から胸のような学校活性化の起  
爆剤は作られました。」

2 ミッション達成はお祭り騒ぎで (高島高校)  
何か始めようとする反対する人は必ずいます。  
そんなときは少人数で楽しく始めるのが肝心で  
す。楽しいとわかれば、いすれ輪に入っていきます。  
Swing Girlsの撮影は当初大反対されました。し  
かし、誰もがいつしか野次馬に、そして首謀者になっ  
ていました。

3 交渉は「三方良し」で (高島高校)  
長島の母校立教大学の学校指定校  
枠(学校で推薦すれば合格する枠)獲  
得のために、池袋の校舎内で二日間各  
学部長にプレゼンして回りました。提  
案理由は知恵の勝負と捉えて練り  
たものでした。現在毎年2名の枠があ  
り、野球部に籍を置く者もいます。



校内EV発表会の様子

4 ただでは起きない (置賜農業高校)  
置賜農業高校の米を東京で売ろう。別件で上  
京の折、町田市の教育委員会を訪ねました。  
食育の担当に会い、給食で使う米から話を進  
めました。快諾いただいた後、小学校へ苗を送り  
田んぼの管理を指導し、合機を運んで自然農法  
を伝授し、食育の演劇も上演しました。  
その取り組みが認められ、小学校は都や国の  
食育研究指定校に選ばれました。

5 東京駅前でも米を売りたい (置賜農業高校)  
「米を売る。」と言ったら、「ヤミ米を売ることか。」  
と叱られました。食管理はなくなったのに。  
「こはんカップの応援隊の別働隊をつくり、東京  
駅近くのS全中「こはんミニマーケット」の軒下を  
借り、二時間で10袋600kgを完売しました。  
2kgで千円です。そうしたら、都内の米屋さん  
から学校に直接購入の話がやってきました。

6 EVを作ったって走らせただけでは火花に終わる  
EVの話聞いたとき、またかと思いましたが、  
すでに2校の工業高校で改造車を作りました。  
「ストーリー」が必要と、本人はブレインスト  
ミングのつもり、他の人からはけんかのような激  
論を繰り返しました。

7 卵が先か鶏が先か (米沢工業高校)  
何をやるにもお金が必要です。評判になればお  
金は集まりますが、最初は何でも苦勞します。  
車のメーカーや地元企業様を回り、発表会の冊子  
や新聞の広告をお願いしました。地元銀行の懸賞  
論文などにも応募しました。そして、地元の企業  
様からは赤字覚悟の応援をいただきました。感謝  
しております。  
そして、今年順風の中での船出となりました。

8 大卒が70人もいるのは大会社だ (米沢工業高校)  
高校の教員のほとんどは大卒です。中には修士  
もいます。とんでもなく大きい知的クラスターと  
なりうる能力を持っています。これを利用しない  
手はありません。「チーム米工」を立ち上げ、学校  
のミッションを明確にして取り組みました。  
勤務時間の標準化にも配慮しました。

9 うまくいっているときこそ、次の一手を考  
えるべき (米沢工業高校)  
プロジェクトが順調に動き出した時こそ、次の一  
手を考えるべきです。何事も「金の切れ目は縁の  
切れ目」です。何とかしなければと思いつくなら  
方に相談を持ちかけました。取り組みが可視化で  
ければ、文科省(SOPP等)、県、市や地元企業様  
からの支援、ご協力の道も広がります。  
そしてゼロエミッションプロジェクトの記事は、再  
来年からの高校で使用する英語の教科書に載る  
ことになりました。

10 生徒の笑顔は学校の笑顔だ  
学校の主役は生徒です。先生が変れば、生徒  
は変わりません。自信に満ちた卒業生は、就職・進  
学試験で本領を発揮しました。  
付け焼刃でない言動で生徒自身の将来の伸びを  
演出できたはずで、専門高校から地元産業  
界に供給できる有為な人材がどんどん育っていま  
す。可能な限り採用していただきたい。  
地域の発展は「人材の地産地消」から始まりま  
す!

この事業は、財団法人東北活性化研究センターから助成を受けて実施しています。

WEEKLY REPORT

6月15日

会長 大河原 章 幹事 相田日出夫 例会 毎週木曜 12:30~13:30 旅館 エビスヤ 事務局 山形県高島町高島911-2-2F tel 0238-52-5440 fax 52-5444

本日の例会 [2651 th] 2023. 6. 15

クラブ協議会

前回の例会 [2650 th] 2023. 6. 8

元 山形県教育庁高校教育課長  
小野 庄士 氏

- ・ 点鐘12時30分 大河原 章 会長
- ・ ローターソング 四 の テ ス ト
- ・ ソングリーダー 我 等 の 生 業
- ・ S A A 青 木 道 春 君
- 大 浦 英 樹 君
- 島 崎 裕 司 君

会長あいさつ

大河原 章 会長

皆さんこんにちは。まず初めに本日のゲストスピー  
カーをご紹介申し上げます。

元 山形県教育庁高校教育課長 小野庄士 様です。  
後ほどスピーチをお願いいたします。

新入会員の西方茂太君、井田和史君、後藤隆暢君  
について、異議ありませんでしたので新年度から正  
式入会といたします。皆さんよろしく願いいたしま  
す。

それから、心筋梗塞と脳梗塞で入院していた、皆  
川君が退院されましたので、お見舞いをしてきたこ  
とをご報告いたします。

6月4日の日曜日、高島青年会議所創立45周年  
記念式典に出席してきました。

会場には多くのロータリーアンも出席されていま  
した。まほらでの記念式典では、歴代理事長を代表  
して、第17代 理事長 土屋直前会長のすばらしいス  
ピーチがありました。祝賀会は米織観光センターへ  
移動して行われましたが、藤田理事長はじめ JC会  
員15名で、よくぞ立派にやり遂げたなど関心しま  
した。思えば、35年前10周年記念のロックシティ  
カーニバルでの熱き心の高まりが思い出されます。

それでは、HOUNDODOGや中村あゆみを想い  
出しながら、ごゆっくりお食事をお取りください。

《幹事報告》

相田日出夫 幹事

- ・ 6月のロータリーレート=1ドル:140円
- ・ 二井宿小学校への図書贈呈の御礼状をいただきました。

スマイルBOX

- ・ 結婚祝い 大浦 英祐 君
- ・ 小野先生は元高島高校の校長先生で、高校  
の発展にご尽力をいただきました。  
大浦 英祐 君
- ・ 小野先生は高島高校に総合学科を創設して  
いただきました。また、高校の創立100周年  
では皆様からのご協力をいただきありがと  
うございました。  
高橋 正人 君
- ・ JCの45周年式典で まほらのセンターを務  
めたのは5回目です。素晴らしい経験をさせて  
いただきました。ありがとうございました。  
土屋 衛 君
- ・ 小野先生には、妻が高校時代にお世話に  
なりその時の教えが今も生きています。  
小平 和広 君

《出席報告》

会員数 43名 出席者数 17名 出席率 39.53 %  
前回修正43名 出席者数 28名 出席率 65.12 %

《メイクアップ》

大浦 英祐 様・皆川 賢治 君・佐藤登与美 君  
山村 義美 君・島崎 裕司 君

次回の例会 [2652 th] 2023.6. 22~23

最終例会

摺上亭 大鳥